

明るく元気の出る町

平成5年12月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

# ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1993

12

NO.465



ねえ、なにつくっているの？

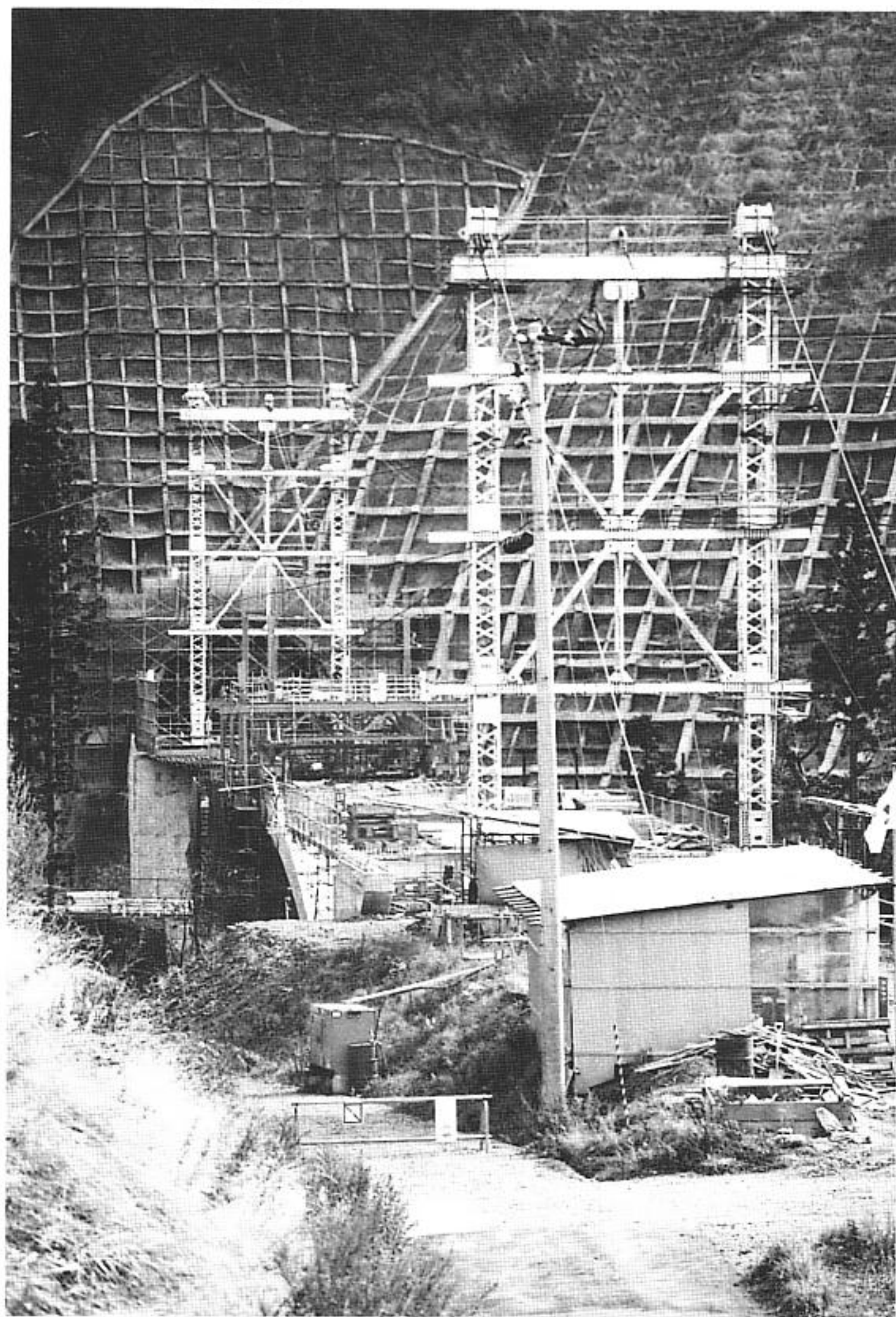
H.5.11.7 産業文化祭、こどもまつりの一コマ



## 道路整備、施設整備は……

“明るく元気の出る町”の基盤となる道路や施設の整備は、今年度も順調に行われています。国道、県道、町道などの整備のほかに、数々の施設が整備されました。より一層の生活環境の整備を図るために行われたこれらの事業の状況をお知らせします。

# 暮らしやすい環境を整える



▲奥名免橋完成にむけて工事が進む国道107号

## 国道

久保・板戸間

## 現路線を骨格に改良

町には国道一〇七号、平成五年度国道昇格の三九八号の二本の国道が通っています。このうち町の大動脈国道一〇七号の整備は、整備計画延長が宿本荘市山内までの六、一二〇メートルで本町側が四、八六五メートル、本荘市側が一、二五五メートルです。

今年、奥ヶ沢一号トンネル(仮称)七五三メートルが貫通、現在コンクリート舗装が行われています。また本荘市側の奥名免橋は進捗率が約七〇パーセント、周辺一帯が緑地環境保全地域に指定されていることもあり今後の維持管理を考えて、



曲がりくねった道路が続く久保・板戸間。早期の拡幅が望まれる

鉄筋コンクリート固定アーチ橋(一・五メートル)で工事が進められており来年秋の完成を目指しています。全線開通は来年十二月の予定です。

懸案の久保・板戸間の改良は、概略測量を行った結果、基本的には現路線を骨格とした改良で県と協議しています。国道一〇七号は、由利郡の海岸部と横手市のふるさと村や高速自動車道秋田線を結ぶ路線として、今後交通量の増大が予想されることから、町では早期の整備を今後も要望していく事になっています。

## 県道

# 館合バイパス来年度着工

町内には五路線の県道があり、矢島、羽後、雄物川、大森、大内の各町と結ばれています。

今年度工事が進められているのは、羽後向田館合線で、三四〇㊦の改良工事が完成しています。同線は、羽後町との境まで測量作業が完了しており、来年度は、今年度程度の工事が予定されていることから、向田集落の手前まで改良工事が行われる見通しです。町では、今後羽後町とも協力して、早期の完成を県に要望していくことにしています。



340m が改良された県道羽後向田館合線

仁賀保矢島館合線の掘切橋から五海保間のルートについて、県では「来年度で用地買収を完了し、工事に着手する予定」との見通しを立てています。榑渕横渡線の黒沢トンネル内の道路



急ピッチで進められる流雪溝整備

舗装、黒沢側入り口の局部改良は八月に完成しています。

流雪溝整備は、神岡坂部横渡線（蔵地内）が今年度、横手東由利線（老方地内）は来年度の完成を目指して工事が進められています。

## 町道・農道

# 9路線が工事完了

日常生活に直接関連のある町道は二一四路線、基幹産業である農業を支える農道は三〇路線あります。

今年度は、別表のとおり十九路線が整備されており、鞍骨二期、ザッコ又、仲ノ沢、大谷地、上野、大下二号、野田四号、十二ノ前二号、湯出野遺跡の九路線が完成しています。

今年の主な工事としては、町道台山線の歩道設置工事（三五八・五㊦）。交通量の増加により、中学校の通学などの安全性確保の面から工事が行われています。

集落内の道路で町道以外の道路を整備する里道道路工事は今年度、大吹川

## 平成5年度道路整備状況

### ◎町道・農道

| 路線名    | 施工地区 | 延長     | 内容            |
|--------|------|--------|---------------|
| 若林2期   | 若林   | 605m   | 改良245m、舗装360m |
| 釜坂     | 釜坂   | 40m    | 改良            |
| 細田     | 細田   | 132m   | 改良            |
| 鞍骨2期   | 鞍骨   | 240m   | 舗装            |
| アクト    | アクト  |        | 橋梁工一式         |
| 井戸ヶ沢   | 井戸ヶ沢 |        | 橋梁下部工一式       |
| 直道     | 直道   | 446m   | 舗装            |
| 高屋     | 高屋   | 456m   | 改良            |
| ザッコ又   | ザッコ又 | 877m   | 改良439m、舗装438m |
| 仲ノ沢    | 仲ノ沢  | 760m   | 改良120m、舗装640m |
| 大谷地    | 大谷地  |        | 種子吹付A=888㎡    |
| 上野     | 上野   | 240m   | 改良、舗装         |
| 善徳     | 善徳   | 807m   | 改良315m、舗装492m |
| 大下2号   | 大下   | 160m   | 舗装            |
| 野田4号   | 野田   | 133m   | 改良            |
| 十二ノ前2号 | 十二ノ前 | 139m   | 舗装            |
| 六助長根   | 大台   | 379m   | 改良            |
| 台山     | 台山   | 358.5m | 歩道設置          |
| 湯出野遺跡  | 湯出野  | 258m   | 改良、舗装         |

二号、黒渕、桂台、葎沢、宿の五路線が整備されています。

また、ふるさと農道緊急整備事業で宿鳥台線の整備が行われます。この路線は黒沢と宿を結ぶ

延長一、八〇〇㊦の路線で、総事業費が一億八千万円、平成

九年度の完成を目指します。今年度は五

千万円の予算で用地

買収と橋梁工事が行

われる予定です。

ちなみに、県情報

統計課で発行してい



歩道設置工事が行われている町道台山線

る「わが町わが村百の指数」によると、本町の道路改良延長は一三八、八六八㊦、率にして六八・六㊦（県内一六位）、道路舗装延長は一三二、七八二㊦、率にして六五・六㊦（県内二二位）となっています。

## 林道

# 今年度も路線を整備



完成した八塩1号線

町内には二十六路線、三三、三八二が林道として認定されています。このうち、今年度は六路線が整備されています。

八塩ダムの奥から八塩山鳥居ノ沢登山口を結ぶ八塩一号线は、今年度舗装が完成し、全線開通しています。同登山口からボツメキ水源地を結ぶ八塩二号线はボツメキ水源地側から開設工事が進められており、平成七年度には開設工事が完成、平成八年度には舗装工

事が完成の予定です。

今年度着工の新田宿線は町畜産広場前から海瀬の草地を結ぶ総延長二、五〇〇メートルの道路で今年度六〇〇メートルの開工工事が進められています。

また、今年度県営ふるさと林道緊急整備事業で採択され、本町と雄物川町を結ぶ三ツ森山線は十月十四日に起工式が行われ、今年度橋梁工事が行われます。総延長九・七キロ（本町五・五、雄物川町四・七キロ）、総事業費三十八億七千万円の道路で、道路幅が七メートルと広いことなどから林業振興に大きな期待が寄せられています。

工事が進められています。

町営住宅に隣接して建設されている教員住宅三棟は、十一月に完成、今月から入居を開始しています。

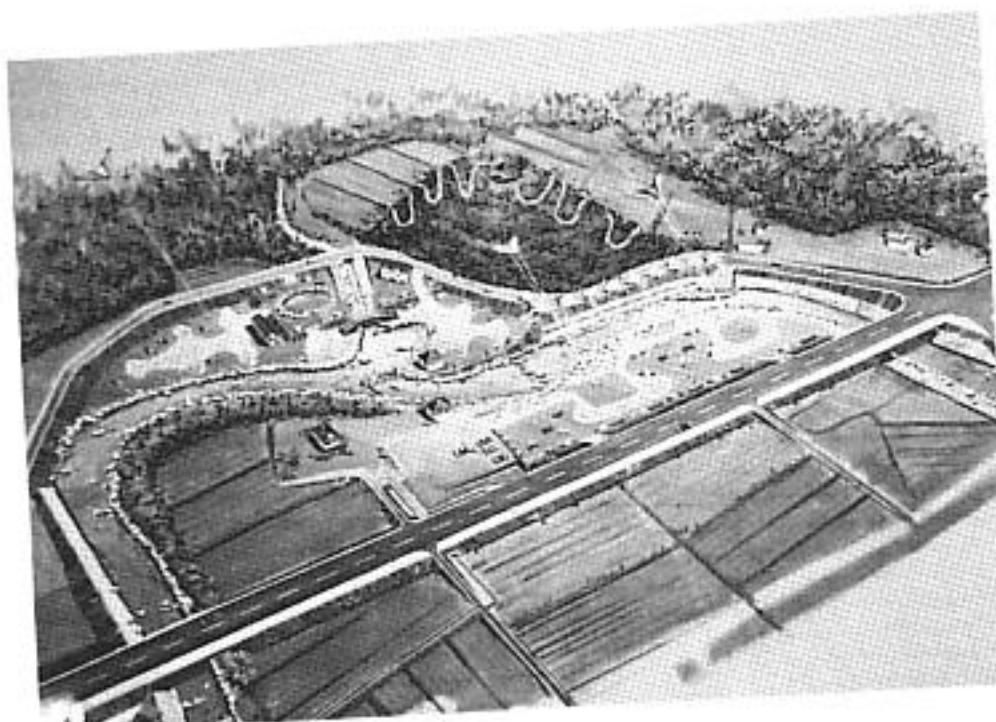
岩館の教員住宅の老朽化や中学校の教員住宅がなかったことから建設された同住宅は、木造平屋建住宅で一棟の敷地面積は約一二〇坪、雪を考慮して敷地を十分に確保しています。



完成した教員住宅

## 公園整備

# 宿桜並木の公園に着手



かねてより地元の要望が大きかった「宿の桜並木周辺の公園化」は、計画図面（右図）が完成し、現在測量作業が行われています。来年度から用地買収などが始まり、県営事業で整備される予定です。

計画図面では、石沢川を利用して「水に親しむ」設計になっており、家族連れで楽しめる公園計画になっています。駐車場のほか多目的スペースを広く設けており、完成すれば春の花見の時期には大にぎわいになるものと思われます。

## 施設整備

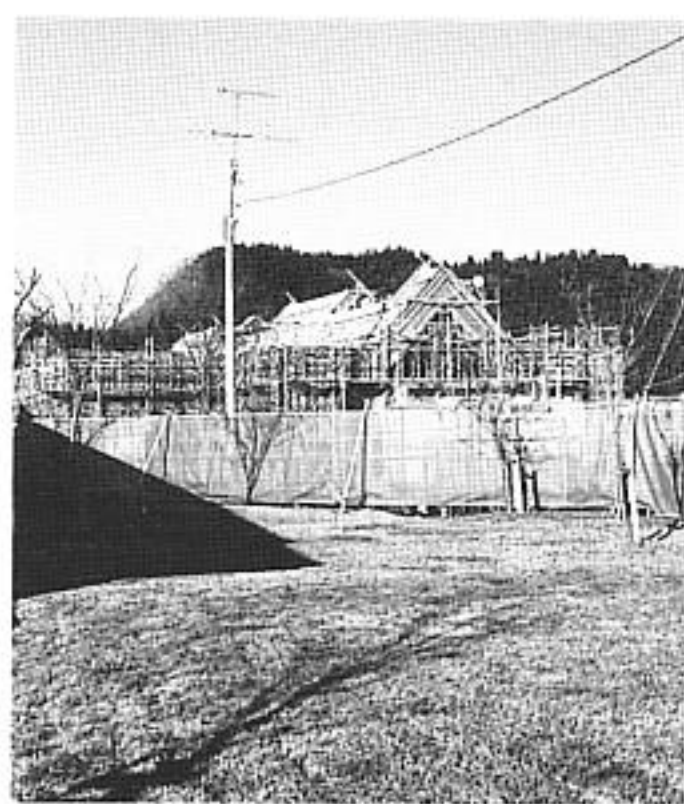
# ディサービスセンター 来年3月のオープン

今年度はさまざまな施設が整備されました。町内初の町営住宅に入居開始、天候を気にせず運動ができるげんき館のオープンなど生活環境の一層の整備が行われました。

さらに、長寿社会を

共に寿々町の拠点施設として、ディサービスセンターが建設中です。

東光苑に付設して建設されているこの施設は、ディサービスやショートステイの機能をはじめ、自宅で介護が必要な方の相談や福祉サービスなどを二十四時



建設中のディサービスセンター

間体制で行う介護支援センターの機能を備えています。同センターは、木をふんだんに使い、床面に段差をなくし床暖房とするなどお年寄りが活動しやすい設計になっています。また、ショートステイ専用居室は東光苑東側居室棟ポーチを増設して、八人の方を収容できるようにしています。施設面積は五八二平方メートル、総事業費は約二億四千万円。来年三月のオープンを目指して

▲総事業費2億円で整備される老方の大堤



## ため池、農道、用排水路を整備

### 県営事業で9年度に完成

県営事業として採択され今年度から着工する「老朽ため池等整備事業」と「土地改良総合整備事業」の起工式が十一月九日、老方の「大堤」前で行われました。

老朽ため池等整備事業で整備される大堤は、十五万トの水を蓄え、受益面積約五十畝を潤すため池。昭和初期の築造であり、老朽化が著しく、漏水箇所も数箇所見られる事や今後決壊などの災害が心配されることから整備に踏み切ったものです。工事は堤体を厚くして強化、取水口も一新され、総事業

費二億円の事業となっています。

一方、土地改良総合整備事業では、蔵、島、宮の前、老方の農道、用排水路の整備が行われます。農道四・八畝は、現在の四畝未満の幅員から五畝に拡幅され、農業機械の大型化にも十分対応できるよう整備されます。用水路九・二畝、排水路六・三畝は、現在の土水路からコンクリート製水路となり維持管理の手間が省けるよう整備され、総事業費三億円の事業となっています。両事業とも五か年継続事業で、平成九年度には完成の予定です。



▲起工式でくわ入れをする阿部町長

起工式には、県や町などの関係者五十人が出席、神事が行われた後、県由利農林事務所の鎌田誠治所長、阿部幸悦町長らがくわ入れを行い、工事の安全を祈願しました。

## 道路整備は生活基盤の整備

わが町には、二本の国道と五本の県道があります。国道は一〇七号と今年四月に昇格した三九八号の二本、県道は仁賀保矢島館合線、羽後向田館合線、横手東由利線、神岡坂部横渡線、檜淵横渡線の五本であります。そしてそれぞれに連結する町道があります。

東由利町はやや丸い町になっており、集落が点在しております。集落と集落を結ぶ道路、そして集落から県道、国道へ出る道路が必要であります。そのためにわが町では、道路整備事業がなによりも優先して行われてまいりました。

その結果、国道一〇七号は平成六年十二月に奥ヶ沢工区が供用開始の見込みとなりました。二本のトンネルと橋ができあがり、本荘までの時間も五分程度短縮されます。

トンネルの名前も「童画のトンネル」、「銀河トンネル」と楽しい名前にしていただき、高橋宏幸先生の壁画も作っていただきました。本荘側の整備が順調に進むと次は、久保・板戸間の改良をお願いしていただければなりません。平成四年度に概略測量が、

今年度概略道路設計ができあがったようです。あとは一年でも早い予算化、事業化をお願いしていただければなりません。館合バイパスも用地関係者のご協力来年度用地買収が終わります。今後三か年ぐ

らいで整備されて行く見込みになります。羽後向田館合線も整備が進められております。岩館バイパスも県の事業化の予定に入っていると聞いております。

黒沢トンネルの出口の改修も今年度できあがりました。横手東由利線の改良はなかなかかんばしくありませんが、十二月には雄物川、大森との期成同盟会で改めて現地を見る事で一致しております。

道は金なりとも言います。産業経済、生活すべての柱は道路でもあります。国や県または近隣の市町のご協力を得ながら一日も早く安全で走行性の良い道路整備を成し遂げたいものです。ご協力ご支援をお願いいたします。

## 町長 阿部幸悦 日記

町道須郷田跡見坂線道路改良事業  
公営住宅建設事業  
全天候型多目的運動広場「げんき館」建設事業

# 3事業の完成を祝う

町道須郷田跡見坂線道路改良事業、公営住宅建設事業、全天候型多目的運動広場「げんき館」建設事業、三事業の合同竣工式が十一月十八日、有郷館で行われました。

町道須郷田跡見坂線は、須郷田集落と跡見坂集落を結ぶ幹線町道で、昭和六十二年度から改良事業に着手。平成二年度からは県代行業業として整備が進められ、平成四年度に完成しました。本町初の公営住宅は、若者の定住対策の一環として平成四年度に木造平屋建二棟、木造二階建二戸一棟方式二棟の

計四棟（六戸）が建築されました。将来的には二十五戸程度の住宅団地にする考えです。全天候型多目的運動広場の



160人が参加した竣工式



▲町道須郷田跡見坂線



▲公営住宅



▲全天候型多目的運動広場「げんき館」

「げんき館」は、天候に関係なく土感覚で運動できる施設として平成四年度から五年度の二カ年事業で建設され、ゲートボールコートなら二面、テニスコートなら一面とれる広さになっています。竣工式には、国、県、町、用地提供者、工事関係者など約百六十人が参加。式典では最初に阿部幸悦町長が「町長就任以来「明るく元気の出る町」を目標として諸施策を進めてきましたが、三事業の完成は関係者待望の事業でありま

した。計画立案から完成まで、いろいろとご指導、ご援助を賜りました県当局並びに関係者各位に対し、重ねて心かなる感謝の意を表します」と式辞を述べました。阿部剛町議会議長のあいさつに続き、小松久男町助役が三事業の工事報告を行いました。

引き続き、三事業の設計監理、施工業者に感謝状が、げんき館の命名者阿部泉さん（蔵新田）に表彰状がそれぞれ贈られました。

最後に加賀谷長之県由利地方部長らが祝辞を述べ式典が閉じられました。祝賀会では、関係者が心行くまで完成を祝いあっていました。

有郷館で行われた表彰式



## 町功労者表彰式 4氏の功労を讃える

平成五年町功労者表彰式が十一月二日、関係者約百人が出席して有郷館で行われました。

当日は、前議会議長の小野要造氏、元議会議員の遠藤兵一氏、前民生児童委員総務の遠藤莊二郎氏、本町岩館出身で横浜市在住の前東京東由利会会長の長谷山稔氏の四氏に阿部幸悦町長から町功労賞が贈られました。

式典では阿部町長が、受賞者のこれ

までのご活躍に感謝と敬意を表し、町発展のためにさらなるご尽力とご指導をお願いし式辞を述べた後、受賞者の方々を支えてくれたご夫人にミス黄桜の鈴木美保子さんから花束が贈呈されました。続いて受賞者一人一人が受賞の喜びなどを述べました。

この後祝賀会が行われ、出席者らは受賞者を祝福するとともに、町発展のため意見交換を行っていました。



▶げんき館の命名者阿部泉さんに表彰状を贈呈

# 第 7 回 産業文化祭

# 5,500 人の人出を記録

▶ねえ見て！なかなか似合うでしょ



▲メイン会場の健康増進センター

第七回産業文化祭が十一月六、七日の両日健康増進センターをメイン会場に行われました。両日とも晴天に恵まれたこともあって、五千五百人の人出を記録、思い思いに秋の休日を楽しんでいました。

冷害の年ということもあり、出品物の減少も懸念されましたが、去年の四百五十三点を九十六点上回る五百四十九点の出品に関係者はホッとしていました。



▲「冷害の実態」のコーナーには多くの人が立ちどまりました。



▲「もう食えないよ～」と子供たち牛丼食い大会での一コマ



▲文化祭特別価格で大にぎわい



◀老人作品展



◀こどもまつり

▶発明工夫展



▶ゲートボール大会



## 入賞者一覧 (敬称略)

### 【一般展示物・町長賞】

《稲作》小松修一(寺田) 《畑作物》  
嶽石ミキ(八日町) 《花キ》佐々木精  
人(大琴) 《果実》小松茂穂(新町)  
《農産加工》阿部キエ(蔵新田) 《葉  
たばこ》三浦良男(田代) 《料理》新  
処婦人部(新処)

### 【発明工夫展】

《町長賞》八塩小学校(学校賞) 《知  
事賞》大日向和樹(大琴2)

《発明協会秋田県支部長賞》

小松陽子(八塩3)・伊東貴雄  
(高瀬5) 《金賞受賞者》小

松俊也(八塩5)・高橋亜弥(八  
塩3)・長谷山真央(大琴1)・

長谷山皓大(八塩1)・阿部

泉(東中1)・畠山信行(八  
塩4)・小野雅人(八塩3)・

高橋定征(八塩5)・小松輝  
臣(八塩6)・古関亮子(八塩

1)・遠藤信吾(八塩1)・阿部仁(高  
瀬4)

瀬4)

### 【老人作品展・金賞】

遠藤忠一郎(館西)・佐藤イトヨ(十二  
ノ前)・長谷山松蔵(久保)・佐藤茂治  
郎(下小屋)・畑山喜五郎(五海保)・佐  
藤太一郎(新処)・高橋精進(智者鶴)・  
佐野キクノ(新町)・佐藤トシ(下小屋)  
小松美代子(大琴)・渡辺シメ(下小路)  
・柿崎ナツ(下通)・畑山マサエ(島)・  
小松茂(新町)・遠藤ヨコ(小倉)

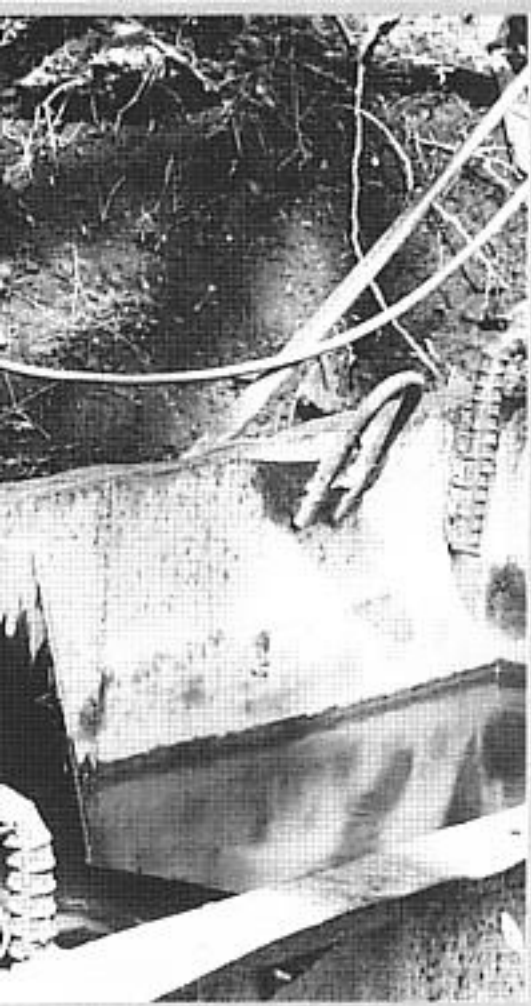
# 今年はこんな年でした



▶冷害対策本部を設置、高冷地で大きな被害



▼国道398誕生（5月号）



◀温泉掘削に成功（8月号）



▲町営住宅に入居開始



▲林道三ツ森山線に着工（11月号）



▶民謡チャリティー早苗祭りまつり（7月号）

5・7・全県ミニバスケットボール大会に八塩小がアベック出場、男子ベスト八進出（秋田市、県立体育館）  
6・消防出初式→二百五十人参加、八十三人を表彰（健康増進センター）

2・11・町民海外研修（十人）、欧州の福祉を学ぶ。→スウェーデン、ドイツ、フランス、スイス。

6・7・時ならぬ洪水、町内を襲う。大雨と高温が原因、被害額一億八千万円

13・14・第九回大平雪まつり→二千五百人入場。（大平スキー場）

1・町スポーツ栄誉表彰式→六個人、三団体を表彰（有鄰館）

7・第二回全県選抜雪上野球東由利大会→十チームが参加（勤労者野球場）

19・五十人委員会発足

21・第二回全町バスケットボール大会→十七チームが参加（健康増進センター）

1・国道三九八号誕生

1・町防犯協会発足

1・町営住宅入居開始

2・16・第九回黄桜まつり→一万八千人入場（八塩いこの森）

9・東京東由利会総会→新会長に遠藤三郎氏を選任（北区、滝野川会館）

4・国道一〇七号奥ヶ沢1号トンネル（仮称）が貫通

16・敬老会→四百二十六人が出席（有鄰館）

20・民謡チャリティー早苗祭りまつり→千人入場（東中体育館）

1・町指定金融機関（JA東由利）スタート

1・げんき館オープン

7・第三十八回町畜産共進会→出陳頭数七十頭（畜産広場）

18・第四十回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査（投票率八二・二八％）

19・温泉湧出→ポンプアップで、三九・二度、毎分六十リットル（久保）



◀奥ヶ沢1号トンネル貫通(7月号)



▲本町初の英語指導  
助手アレンさん  
(9月号)

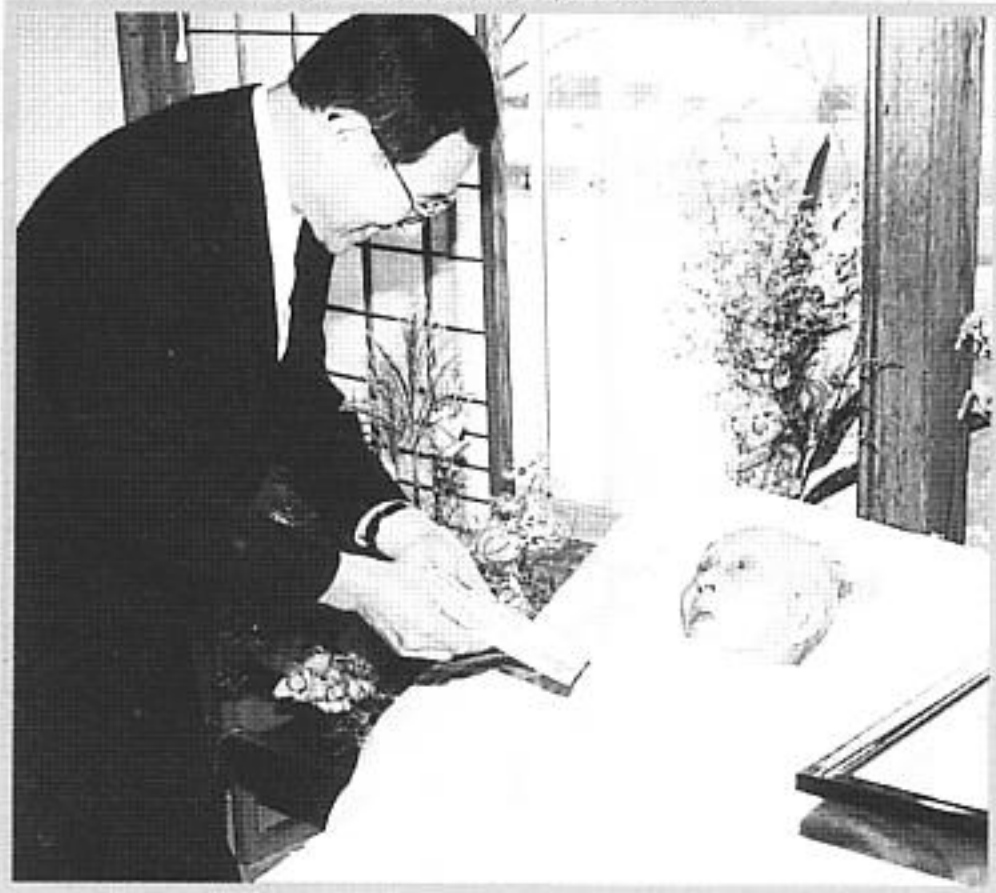


▲げんき館オープン(8月号)



◀東由利音楽祭(11月号)

▼梅津ヤスさん100歳に(10月号)



▲町指定金融機関スタート(8月号)

28・本町初の英語指導助手、アレン・キッドさん就任

1・環境巡視員八人を委嘱

8・第七回町民ゲートボール大会→五十三チームが参加  
(町民グラウンド、げんき館)

11・教員住宅起工式(町営住宅用地)

12・農作物異常気象対策本部(本部長・阿部幸悦町長)を  
設置

14・ふるさと交流→四十人が参加(げんき館)

15・成人式→八十一人が大人の仲間入り、記念講演は女  
優の浅利香津代さん

15・第三十五回町社会人野球大会→十四チームが参  
加(勤労者野球場、町民グラウンド)

19・デイサービスセンター起工式(東光苑敷地内)

29・第二十五回町民スポーツ祭(町民グラウンド)

5・梅津ヤスさん(大琴)が百歳に

11・12・中央地区青年ふるさとづくりリーダー研修を本  
町で開催→四十人が参加(有鄰館、八塩いこいの森)

14・第三回町健康推進大会並びに愛育会創立二十周年記  
念式典→五百人が参加(健康増進センター)

19・本荘由利広域青年交流会を本町で開催→百五十人が  
参加(八塩いこいの森)

22・農作物異常気象対策本部を冷害対策本部に移行

14・林道三ツ森山線着工式(茂沢)

24・東由利音楽祭→五百人が参加(東中体育館)

26・畑山教育長が勇退

27・町初の文化財を指定→波宇志別神社賽銭箱、薬師瑠  
璃光如来像、下村氏墓碑の三点

29・11・8・大内町(6人)と本町(9人)合同で町民海  
外研修、欧州の農業を学ぶ→デンマーク、ドイツ、フランス

2・町功労者表彰式→四氏を表彰(有鄰館)

4・教育長に笹本信也氏就任

6・7・第七回産業文化祭→五千五百人入場

9・県営事業(老朽ため池等整備事業、土地改良総合整  
備事業)起工式(老方大堤)

18・町道須郷田跡見坂線・公営住宅、げんき館合同竣工  
式(有鄰館)

はい!!  
役場です

## 町冷害対策本部

### 冷害対策資金に利子補給

町冷害対策本部（本部長・阿部幸悦町長）は、記録的な冷害となった現状を踏まえて、資金対策、来年度の種子対策などの具体的な支援策を発表しました。

これによると、資金対策としては、天災融資法による天災資金、自作農維持資金、県単冷害対策資金、JA東由利が実施する冷害対策資金に利子補給を行い、一・〇％から三・五％の低利で貸し付けることができるようにしたものです。また、来年度の種子確保対策としては減収率にに応じて三〇％から一〇〇％を補助することになっています。

## 教育長に笹本氏就任



▶ 笹本信也氏

町教育委員会教育長に十一月五日付けで笹本信也氏（蔵・六十四歳）が就任しました。

笹本氏は、昭和二十四年三月から平成

元年三月までの四十年間教職員として活躍、この間本荘市立小友小学校、町立高瀬小学校長、東由利中学校長などを歴任されました。平成二十年からは本町教育委員に就任、本町の教育振興に尽力されています。

就任に当たり笹本教育長は「前教育長の実績を踏まえて、『努力する目標を持つ子供』の育成に努めたい」と話しています。

## 2歳児健診より



◀ 畑山 菜々ちゃん  
（館合新田・吉基さん二女）



◀ 高橋夕希ちゃん  
（館合新田・和夫さん三女）



◀ 長谷山裕子ちゃん  
（田代・博昭さん長女）



◀ 阿部咲子ちゃん  
（岩館・徳夫さん長女）



◀ 遠藤弘人くん  
（宇戸坂・信弘さん二男）

虫歯  
なんて  
ないもん。



◀ 小野美咲ちゃん  
（新町・孝悦さん長女）



◀ 渡辺満里奈ちゃん  
（館合新田・要さん長女）

### 国税の納税猶予

冷害等の災害により被害を受けられた方は、税務署に申請することによって、国税の納税の猶予を受けることができます。

納税の猶予の申請をする、一時に納付することができないと認められる税金は、一年以内の猶予を受けることができます。

納税の猶予の手続き等について、分からない方は、早めに本荘税務署（☎二二―二三三五）にご相談ください。

# 佐藤敏英氏(町功労者)に勲五等瑞宝章

## 板垣重信氏(島出身)に弘前市シルバー卍賞



佐藤 敏英氏



板垣重信氏

町功労者で西目町在住の佐藤敏英氏(七六歳・八日町出身)が勲五等瑞宝章の栄誉を

受けられました。また、本町島出身で弘前市在住の板垣重信氏が、弘前市の功労者に相当する「シルバー卍賞」を受賞しました。

佐藤氏は昭和十二年以来四十有余年にわたって教職にあり、この間、玉米中学校教頭、宿小学校長、東由利中学校長として十五年有余にわたり郷土の教育振興に寄与されました。また、在職中、郡市僻地教育研究会会長、同校長会副会長、県学校給食研究会理事等

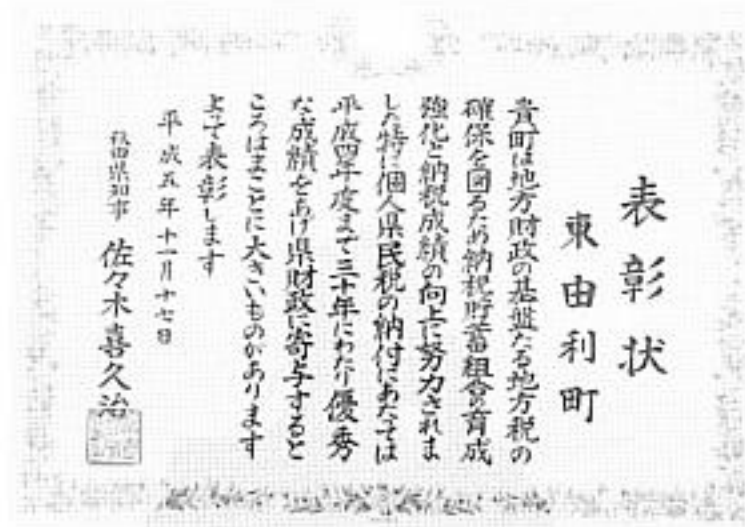
を歴任、一貫して教育の伸長発展に尽力されました。昭和五十八年には町の功労者に選ばれています。

板垣氏は、弘前市で飲食業を経営。多年にわたり弘前料理飲食業協同組合理事長、県料理飲食業環境衛生同業組合理事長などの要職を歴任し、業界の経営健全化、衛生施設の改善向上に努められ、飲食業の振興に寄与されました。

# 本町が県知事表彰 個人県民税連続完納30年

本町が個人県民税を三十年間連続完納した事がたたえられ、県知事から表彰されました。昭和三十八年度に個人県民税を完納以来平成四年度まで三十年間連続完納したもので、県内では本町と岩城町

がこの表彰を受けています。町税務課では「町民の納税意識の高揚がこの表彰につながった。今後とも協力願いたい」と話しています。



### 表彰状

東由利町

貴町は地方財政の基盤となる地方税の確保を図るため納税意識を高め、完納率の向上に努力され、三十分年連続完納の功績を認め、ここに表彰します。

平成五年十一月十七日  
岩手県知事 佐々木喜久治

## 一層活発な活動を誓う

### 3町合同議員研修会

岩城、大内、東由利三町の議会議員同士の交流と勉強の場にと昨年から行われている「三町合同議員研修会」が十一月十七日、本町有鄰館で開催されました。

研修会には三町の議員ら関係者約七十人が出席。開会行事の後、前宮城県町村議会議長会事務局長の佐藤春男氏が「議会活動の活発化のために」



70人が出席した議員研修会

と題して講演。この中で佐藤

## 林業振興に活発な意見



林業の大切さを学ぶと町林業懇話会(佐藤恒悦会長)が十一月十三日、有鄰館で林業座談会を行いました。当日は、林業関係者約三十人が出席、開会行事の後中川清郎県林

務部長が「秋田県林政の重点施策」と題して講演。この中で中川部長は「森林には年間三十九兆円の価値があるとされている。秋田県の杉の人工林は年々整備が進み、現在では全国トップクラス。今後はこれらを守るべく、労働力の確保、高度技術者の育成、作業道、機械の充実を図らなければならない。また再生産可能な森林を整備して、一層の生産性の向上を図らなければならない」と講演しました。引き続き県林務部からの職員を交えて座談会が行われ、出席者からは活発な意見が出されていました。

氏は「全国の問題となっている『ゼネコン汚職』は、議会の厳しいチェック機能が働いていけば未然に防げたケースもある。町民の代表として、町民の意見を町政に反映するのはもちろん、町政をより良い方向にもって行くために努力してほしい」と議会活動の一層の活発化を促しました。この後、三町の議員たちが日ごろ考えている町づくりのありかた等について意見交換を行い、三町の発展と交流を誓い合っていました。

## 米の袋詰めに興味津々

### 地域農業学習会

小学生に東由利の農業を勉強してもらおうと、昨年に行っている「地域農業学習会」が十月二十九日、町内の小学校三年生七十七人を対象に行われました。

学習会では、ライスセンター、佐々木精人さん（大琴）のバラ栽培ハウス、町の実験農場を視察しました。

中でもライスセンターでは、JAの職員が施設内部を回りながら農家から穀が運び込まれ、米になって出荷されるまでの内容を説明。特に玄米が袋詰めになされて積み上げられていく作業を子供たちが興味深そうに見学していました。



米が運ばれる様子に興味津々の子供たち

## 矢島信金東由利支店

### 新店舗で営業開始



新店舗で営業を開始した矢島信金

矢島信用金庫東由利支店の新店舗がこのほど完成し、十月二十五日から営業を始めています。

この店舗には最新式のATM（現金自動預入・支払機）が備えられ、カード一枚ですべての事ができる仕組みになっています。窓口も広々としており、お客様にゆとり対応できるよう配慮されています。また、今まではなかった広々とした駐車場も整備されています。

同支店の茂木支店長は「新しい建物で気持ちを新たに頑張って頑張っている。二階には約二十坪の会議室もあるので必要なときは解放したい。たくさんの方々の来店をお待ちしている」と話しています。

## 福祉の大切さを実感

着実に進む高齢化社会の中で、福祉の大切さを考えようと十一月十一日、福祉を高める集いが有鄰館で行われました。

この集いは、町社会福祉協議会（梅津嘉一郎会長）が共同募金などの収益金を利用して行われたもので、子供からお年寄りまで約二百人が参加しました。

最初に子供たちが、実際の体験の中で感じた「福祉の大切さ」を発表。つぎに、町内の三小学校、中学校、下郷分校の児童生徒が町や社会福祉協議会の福祉施策について質問、阿部町長や梅津会長は、子供たちの単刀直入な質問に戸惑いながらも、分かりやすく質問に答え、会場は終始なごやかな雰囲気包まれました。



200人が参加した集い

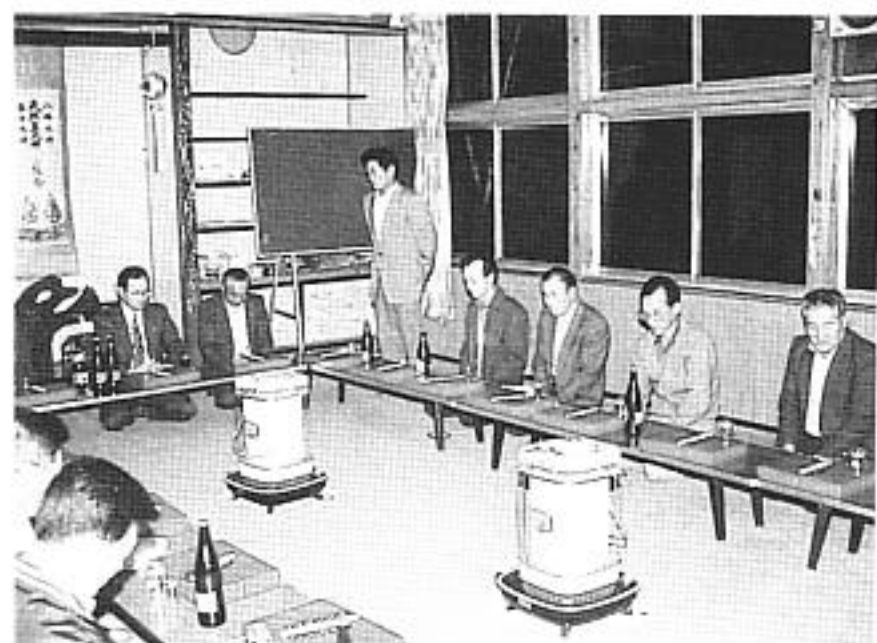


## ＡＡＢの受信アンテナ完成 手づくり事業で舟打場地区

「ＡＡＢ秋田朝日放送の鮮明な画面を」と、舟打場地区のテレビ組合では、町の地域手づくり事業を利用して共同受信アンテナを建設、このほど地区の会館で完成祝賀会が行われました。

舟打場地区では、昨年からＡＡＢ共同受信アンテナの話が出ていましたが、事業費などの関係からなかなか話がまとまらない状態が続いていました。しかし、地域の若者の盛り上がりや町の地域手づくり事業で事業費の半分を助成してくれるとあって、話は急に進展し、今年十月の完成をみたものです。

祝賀会には関係者十八人が出席し、心ゆくまで完成を祝っていました。



関係者18人が参加した祝賀会

## 80キロの餅をペロリ

### 高瀬まつり

学校田でとれた餅米を食べて、収穫の喜びを味わおうと十一月二十日、高瀬小学校体育館で「高瀬まつり」が行われました。

今回は、祖父母学級、餅つき大会、演芸発表会の三つを組み合わせて行われ、五百三十人が参加しました。

会場には、十四個の臼が置かれ、子供と大人が力を合わせての餅つきに会場は大にぎわい。できあがった餅は、雑煮やあんこ餅などにして味わいました。今年は冷害の影響もあり、学校田の収穫量は去年の約六割。用意された八十詰の餅米はアツという間になくなりました。

この後、子供たちによる演芸発表会が行われ、会場は終始なごやかな雰囲気包まれていました。



力を合わせて餅つき

## 大坂イヨさん 1日消防署長



秋田ルビコンで説明を受ける大坂さん

「一九九番の日」の十一月九日、本町婦人会長の大坂イヨさん（下通）が一日日本庄消防署長に任命されました。

この企画は、防火週間（十一月七日～十三日）にちなんで、毎年行われているものです。

当日は午前九時に「一日消防署長」の委嘱状が交付され、消防業務の内容について説明を受けた後、署員の点検、簿冊の点検を行いました。

管内事業所の視察では、本町の秋田ルビコン株式会社を訪問。防災設備の状況等を視察しました。

一日消防署長の大坂さんは「とても緊張しました。見るもの、聞くもの、ほとんどがはじめてでとても勉強になりました」と話しています。

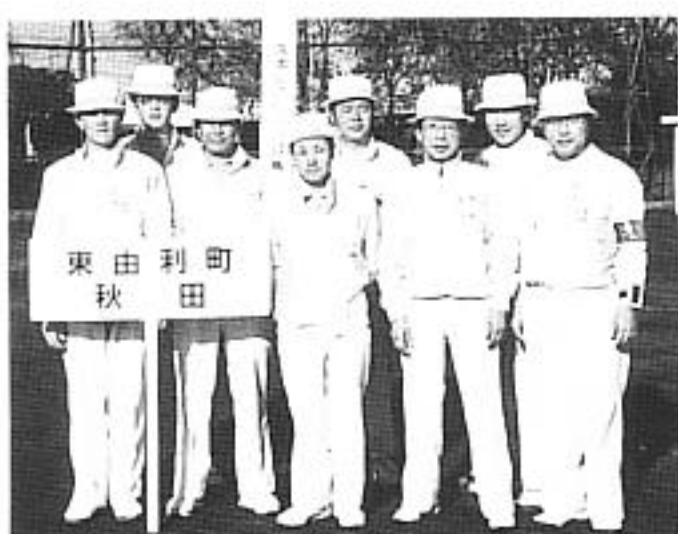
## ゲートボールで交流

### 全国スポレク祭

勝負よりも親善と交流を目的とした第六回全国スポーツレクリエーション大会が十一月十三日から十五日まで千葉県で開催され、本町からゲートボールチームが秋田県代表として参加しました。

大会は千葉県内十八か所で行われ、ゲートボールは君津市、袖ヶ浦市を会場に行われました。十四日に四チームのリーグ戦が行われ、本町チームは第三位。十五日には各ブロックの順位によって分かれたチームによるトーナメント戦。本町チームは接戦を勝ち上がり、決勝で群馬県を二五対七で破り、三位ブロックで優勝しました。

参加者たちは「全国各地の人と交流ができて、最高の気分。参加してよかった」と感激していました。



全国スポレク祭に参加した面々

## ボランティアで雪囲い

### 蔵壮寿会が東光苑を

蔵壮寿会（小野豊一郎会長）が十一月十八日、ボランティアで東光苑の雪囲いを行いました。同会では、東光苑開設当初から毎年行っています。この日は、敷地内の樹木や苑の回りなどの雪囲いを行いました。



雪囲いをする蔵壮寿会員

# HIGASHIYURI

東由利の話題

# TOPICS

# 町の宝もの

## 水上館

玉米氏の館の一つで、古文書に「新沢口の山の上にある。この館で玉米殿が矢島からの軍を請けられた」とあります。

水上館は新沢線の起点付近右側の館ノ沢を上りつめた左手の山頂部にあつ



て、松の大小二本が目印となつています。権現長根から続く稜線の途中を二条の溝（幅二畝・深さ一畝・長さ約五〇畝）が切られており、空濠（からぼり）と思われまふ。北側は台地状になつています。元亀元年（一五七〇）玉米氏に助けを求めた矢島侍のことから矢島を攻めたが敗れ、水上館に逃げ帰っていた所に矢島勢が押し寄せ防戦しました。ところが大雪となり囲みを解いて引きあげたとの記録があります。

## 何をくわでしているのか？

東由利砕石株式会社では、昭和四十七年の創業以来道路用の砕石を主に製造しており、十三人の従業員が働いています。現在は板戸で原石を採取し、茂沢で加工しています。

秋田自動車道にも同社の砕石が使われており、町内では道の駅、げんき館、町道湯出野遺跡線などの路盤用の砕石として利用されています。同社では「道路工事の基本は砕石。」

## 道路用の砕石を製造

### 東由利砕石株式会社

安全第一で作業を進めています」と話しています。



## 愛育班から おかあさん登場

小松典子さん（畑村）



地域の人々との触れ合いが活動して、一番の楽しみ。役場からの配り物をもつて家庭を訪問するとき、ただ黙っておいでくるより、声をかけておいてくればいろいろな話が聞けて楽しいし、顔を合わせるのが何より大切と考えています。

十二年くらい前に愛育班活動をしたときは、わからないことばかりだったけど今回は、地域の方々の協力もあり充実しています。

本荘市での研修会に参加したりするといろいろな人と知り合いになれます。体の大切さや塩分のとりすぎなど、日常生活でちよつと心掛ければ改善できることなどがたくさんあることに気づき、とても勉強になります。

何をやるにしても「おもしろく楽しくやろう」と心掛ければ活動していて楽しくなります。あと少しの任期ですからこの心掛けを大切にして頑張りたいと思います。

## 最低賃金が 四、二二四円に

### 十月九日から適用

毎年この時期に改正されている「秋田県最低賃金」がこのほど発表され、一日当たり四、二二四円、時間給労働者一時間当たり五二八円となりました。この最低賃金は十月九日から適用されています。

最低賃金制は、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度額を定め、使用者は、最低賃金より低い賃金を労働者に支払ってはならないとされている制度です。仮に最低賃金より低い賃金を労働者使用のうえで定めても、それは法律により無効とされ、最低賃金と同額の定めをしたものとみなされます。

最低賃金は、臨時に支払われる手当、時間外、休日、深夜などの割増賃金、ボーナスなどには適用されません。

また、最低賃金には、地域別最低賃金（県内すべての労働者と使用者に適用）と産業別最低賃金（県内の特定の産業の労働者と使用者に適用）の二種類があります。地域別と産業別の両方の最低賃金が同時に適用される場合には、最低賃金額の高いほうが適用されます。

詳しいことは、秋田県労働基準局（☎〇一八八―六二―六六八一）または本荘労働基準監督署（☎二二―四一―二四）におたずねください。

# 日頃の努力が実をむすぶ

11月は、今までの功績が認められ、いろいろな人がさまざまな分野で表彰される時期でもあります。日頃の努力が実をむすび、見事表彰された方々を紹介します。

## 県種苗交換会

### 佐々木精人さんに 農林水産大臣賞

十月三十日から六日間大曲市で行われた第三十六回県種苗交換会で、佐々木精人さん（大琴）出品のティネケが切り花（バラ）部門で、最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。佐々木さんは四年前からバラ栽培を行っており、昨年の種苗交換会では同部門で県知事賞を受賞、県内トップクラスの実績を誇っています。

なお、この他に工藤喜美雄さんが栗部門で二等、三等を受賞しています。



農林水産大臣賞を受賞した  
佐々木さん(写真右)

### 佐々木輝男さんが 県技能士連会長表彰



佐々木輝男  
さん

技能士の地位向上と技能士会の円滑

な運営に寄与されたとして、大琴の佐々木輝男さんが県技能士会連合会長表彰を受賞しました。この賞を受賞したのは本町では初めてです。

受賞した佐々木さんは「このような素晴らしい賞をもらうことができてうれしい。今後も一生懸命頑張りたい」と話しています。

### 佐々木倉子さんが 優良年金委員表彰



佐々木倉子  
さん

大琴自治会国民年金委員の佐々木倉子さんが、優良国民年金委員として県国民年金委員協議会から表彰されました。佐々木さんは、平成元年四月から同委員に就任、以来保険料の納付の推進や、被保険者の適用促進、相談などの年金制度の啓蒙、普及に尽力され組織の充実や年金業務の伸長発展に尽くされました。

### 畠山菊一さんが 出稼先で表彰



畠山 菊一  
さん

東京の山神警備保障に出稼ぎに行っている畠山菊一さん（下通）が、東京都警備業協会から表彰されました。

この賞は、多年にわたり警備業に従事され、協会の円滑な運営に協力した方に贈られたもので、畠山さんは昭和五十八年から警備業一筋に働いてこられました。現在は、道路工事の交通誘導などの仕事をしています。

### 税の習字で佐藤さんに金賞

作文では金子さんに連合会長賞



佐藤 綾さん



金子真知子さん

税への関心を高めようと本荘由利地区納税貯蓄組合連合会が主催して行われた税の作文、習字コンクールで、佐藤綾さん（八塩小五年）が習字の部で金賞、金子真知子さん（東中二年）が作文の部で本荘由利納税貯蓄組合連合会長賞をそれぞれ受賞しました。習字の部には、郡市内の小学校から二、六三一点が出品され、佐藤さんが金賞に、作文の部には郡市内の中学校から三〇〇点が出品され、金子さんが連合会長賞にそれぞれ選ばれたものです。



わが家の  
アイドル☆

湯出野・長谷山峻之ちゃん  
（H・3・10・22日生まれ）  
和幸さんと美喜さん  
の長男

「病気ひとつしないで元気に育っています。今は車遊びに夢中です」とおばあさんのカツさん。

東由利——ニュースダイジェスト⑨

あめの日・あめの時

老小、玉小で百周年

昭和四十九年、老方小、玉米小が創立百周年を迎え、記念式典が行われました。

老方小では、十月二十七日に記念式典が行われ、全校児童のほか地区住民、前職員など多数が参加しました。記念事業実行委員会では記念誌の発行や記念図書の贈呈などが行われました。



新しい100年へ決意を誓う  
老方・玉米両小100周年を記念して

記念事業盛大に  
老方・玉米両小100周年を記念して、両校で記念式典が行われ、全校児童、地区住民、前職員など多数が参加しました。記念事業実行委員会では記念誌の発行や記念図書の贈呈などが行われました。

玉米小では、十一月九日に老方小同様多数が参加して記念式典が行われました。同小でも記念事業実行委員会が中心となって記念誌を作成したほか、残額を教育充実のために向けることにしました。

東由利の文芸

◆平成五年度都市観桜会協賛俳句大会

《本莊市議会議長賞》

春の風集めて子等の一輪車

佐藤 正義（湯出野）

《由利郡町村会長賞》

棧俵舵なき舟出の雛送る

高橋ヒデ子（横 渡）

特選

チャイムの音集めて芽吹く雑木山

小野 貞子（蔵新田）

本莊市に勤務している彼女の最大の関心事は道の駅。山形県寒河江市のチェリーランドに行ったときの事が印象的だったらしい。とても感動しました。東由利の道の駅もすばらしいものにしてほしい」と熱っぽく話して

佐藤博美さん（23歳）



います。さらに「東由利のイメージとして確立できる道の駅になってほしい」とも話し、期待の大きさが伺えます。また「町外から見た東由利の印象は？」と尋ねると「四季折々のすばらしい風景が東由利の大きな魅力。そして、東由利に

行けば何かがあるという町になればすばらしいと思う」と今後の町の動きに大きな期待を寄せているそうです。次は宇戸坂の高橋和子さんにリレーします。

◆由利地区親善交流金浦大会

特選 ぜんまいもむ祖母は能牛の指をもつ

小松 女沙（下小路）

特選 また明日遊ぶ約束夕蛙

阿部 澄子（蔵）

◆都市菖蒲まつり俳句大会

特選 花菖蒲木の椅子ひとつゆづり合う

高橋ヒデ子（横 渡）

◆本莊市米まつり協賛俳句大会

《由利郡町村議会議長賞》

山ぶどう少年秘めし宝地図

高橋ヒデ子（横 渡）

《本莊市観光協会賞》

引かれゆく牛のひと啼き野分晴

遠藤トミ子（小 倉）

## 笑顔の子供たち



小松容子さん

私のゆめは動物のお世話をする事。動物のすみよいかんきょうをつくること。動物たちに合ったところを選んであげてその動物たちを自然の中でお世話するんだ。それが第一のゆめなんだ。このままでいいけど、本当は早く大人になって、このゆめを



佐藤千草さん

私のあこがれのケーキ屋。毎日、かわいいケーキを作るいちごをちょこん、つやつやかがやく、できたてショートケーキ。ケーキも私も待っている。「だれか買ってくれるかな」そう思いながら待っている。ふっくらできたチーズケーキ「だれか買ってくれるかな」そう思いながら待っている。「カララン」今二つのケーキは、

## 未来の夢は？ (八塩小四年生)



永慶保育園

上段右からかおりちゃん、いくみちゃん、まきちゃん、下段右からみかちゃん、あみちゃん



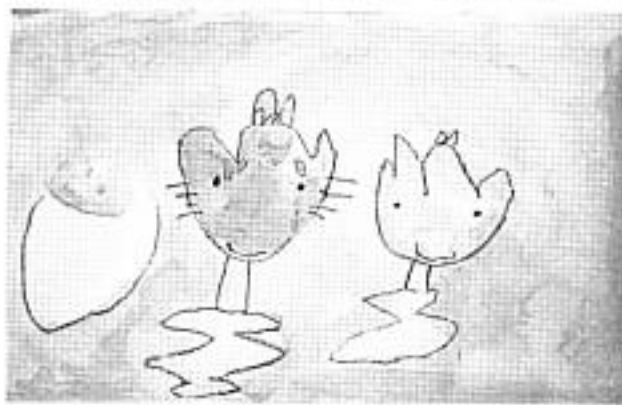
▲おのかおり (新町)



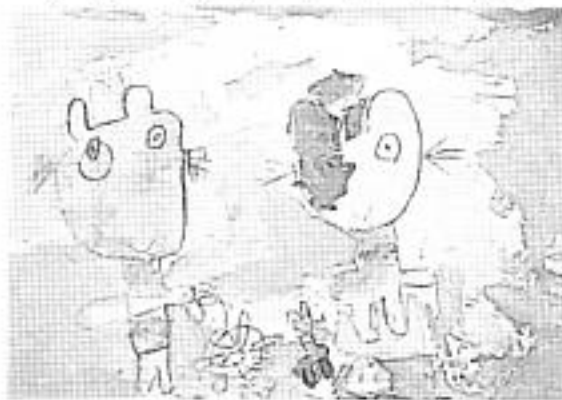
▲おのいくみ (湯出野)

## ぼくの絵わたしの絵

▼えんどうまき (新処)



▼あべみか (十二ノ前)



▼むらかみあみ (新町)



## ハイスクール◎日記

### 強歩大会



下郷分校1年 佐藤直美さん

女子は住吉の橋からスタートしました。距離は十七キロです。長い道のりなので、走っては歩き、歩いては走りの繰り返しでした。コースの途中、私たちの町に古くから伝わる「シメブチの大蛇」を見ることができました。

苦しかったのは、第二関門の「大吹川」を過ぎてからです。足ががくがくはじめて、歩くのが嫌になってきました。早く学校に着きたいという思いだけで歩きました。それでもやっと第三関門の「下吹」も通過し、ゴールの学校を目指すだけにな

りました。ルビコンが見えると学校まであと少しです。けれどもなかなか足が前に進みません。途中で、女子と同じ時間に学校をスタートした二年生の男子が追い越していったのにはびっくりしました。「まさかこんなに速いなんて」という思いが広がりました。すごいなあと思いました。ルビコンが見えると思わずに足も軽くなりました。学校に着いた時はもうおなかペコペコで、しかも足が痛く、教室で体をいやすながらお弁当を食べました。すごく「幸せ」な気持ちになりました。

※先月号の大庭明美さんは、大庭晴美さんの誤りでした。訂正してお詫びします。

# 12月→データ東由利

〈10/1～10/31〉

## 人口

( )は前月比

|      |            |
|------|------------|
| ■男   | 2,722人(△2) |
| ■女   | 2,864人(△7) |
| ■計   | 5,586人(△9) |
| ■世帯数 | 1,418戸(△3) |

( )は1月からの累計

|       |        |     |         |
|-------|--------|-----|---------|
| ●出生   | 2人(33) | ●死亡 | 11人(62) |
| ●転入   | 7人(72) | ●転出 | 7人(127) |
| ■火災出動 | 0件(4)  |     |         |
| ■救急出動 | 5件(74) |     |         |
| ■交通事故 | 2件(5)  |     |         |
| ●死者   | 1人(1)  |     |         |
| ●傷者   | 1人(4)  |     |         |
| ■飲酒運転 | 0人(0)  |     |         |
| ■酒気帯び | 0人(3)  |     |         |

## カレンダー 12月の行事

|    |                                         |
|----|-----------------------------------------|
| 2  | 家庭バレーボール交流大会<br>(毎週木曜日・1月下旬まで、健康増進センター) |
| 4  | 大台分校開校式                                 |
| 9  | ことぶき大学(10:00朋楽荘)                        |
| 9  | 学校週5日制推進委員会<br>(14:00有鄰館)               |
| 16 | 12月議会定例会                                |
| 22 | 東光苑クリスマス会(10:30～)                       |
| 23 | 第2回高橋宏幸賞表彰式(予定)                         |
| 24 | 大平スキー場開き(11:00～)                        |
| 25 | 小中学校2学期終業式                              |

## 東由利

## 郷土の野草

No.106



### カヤツリグサ

(カヤツリグサ科)

文・写真 小松忠正

比較的湿り気の多い田畑のあぜや路傍、原野等に多く見られる一年草で、茎は節がなく、高さが三十～四十センチぐらいの三角形をして直立します。八月ごろ、茎の先に三～四個の苞葉(花や花序の基部につく葉)をつけ、花序のやや硬めの細い枝を数本散形状に出して線形の茶褐色の小穂が多数集まった花穂をつけます。和名は、蚊帳をつつていたところ、この茎を二つに裂いて四角な形をつくり、遊んだりしたことからつけられたものといわれています。

## 戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

10/24 畠山 奨ちゃん(鋼理)二男・蔵

●ご結婚おめでとう

|                   |                     |                    |                    |                    |                    |                   |                    |                         |                   |             |            |            |             |           |             |            |             |
|-------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------------|-------------------|-------------|------------|------------|-------------|-----------|-------------|------------|-------------|
| 11/18             | 11/26               | 10/28              | 11/1               | 11/4               | 11/10              | ●ごめい福をお祈りいたします    |                    |                         | 10/25             | 10/26       | 10/28      | 10/28      | 10/28       | 10/28     | 10/26       |            |             |
| 小松スエヨさん(79・勉・母)石高 | 横山与一郎さん(59・ミツ・夫)泡ノ淵 | 佐々木正義さん(90・正安・父)大琴 | 佐藤三三さん(79・ミヤ・夫)下小屋 | 畠山芳男さん(67・芳一・父)宇戸坂 | 畠山重一郎さん(80・ノブ・夫)下通 | 鎌崎リツさん(76・敏夫・母)久保 | 佐藤マサノさん(95・與一・母)新処 | 鈴木キクエさん(77・小松ハナ・夫の姉)東光苑 | 遠藤富也さん(70・スツエ・夫)蔵 | 油谷順子さん(平鹿町) | 八嶋恵子さん(黒瀬) | 木内寿栄さん(久保) | 高橋春美さん(蔵新田) | 伊東徳さん(新町) | 佐々木和子さん(上通) | 畠山正幸さん(板戸) | 伊藤幸恵さん(本庄市) |



月山の雪化粧。とてもきれいな風景でした。  
(撮影・谷口圭一さん、上通)

## 私の好きな風景

月山

## 祝沢に餅米の 大湯村の佐藤さん プレゼント

本町祝沢出身で大湯村在住の佐藤晃之輔さんがこのほど、出身地の祝沢地区に餅米四五〇キロ(一戸当たり三〇キロ)をプレゼントしました。

十月二十四日に祝沢地区を訪れた佐藤さんは、冷害の深刻さを実感。自治会長を通して餅米四五〇キロのプレゼントを決意したものです。

祝沢地区では会館に届けられた餅米を各農家に配分し、心温まる贈り物に感謝していました。

## まごころ

町社会福祉協議会に、佐藤征進さん(時雨山)、遠藤キヨさん(横渡)、村上栄志さん(新町)、畠山乙美さん(下通)、佐藤興一さん(新処)、鎌ヶ崎敏夫(久保)さんからご芳志が、東光苑文化祭バザーの収益金の一部がそれぞれ届けられました。広報送付の謝礼として、伊東哲也さん(八戸市在住、蔵出身)から金一封が届けられました。東光苑には、高瀬小、大琴小からさつまいもが届けられました。ありがとうございました。